

FILDERシリーズご利用のお客様へ

2025年3月リリース

FILDER SiX

新機能ご紹介



「かんたんに」習得できるCADへの改良
ダイキンならではの空調機能強化



SYK-SHIFT-SiX1210



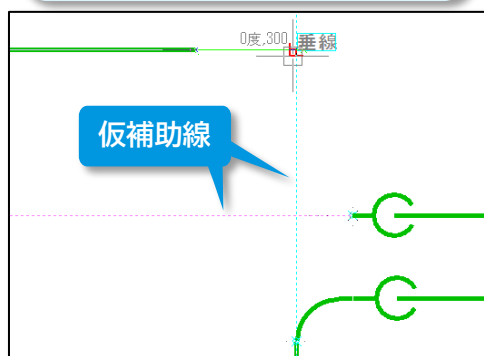
P2	目次
P3	FILDER SiXの特長
P4	FILDER SiX機能強化一覧
P6	機能紹介:作図アシスト搭載
P11	機能紹介:空調機能強化
P17	機能紹介:その他操作・機能改善
P25	最新マニュアルご紹介
P26	動作環境
P27	FILDER CeeD / Cubeから FILDER SiXへの主な変更点

※現在開発中のため、本資料記載内容から機能が追加、変更、廃止される可能性がございます。
ご了承ください。

FILDER SiXの特長

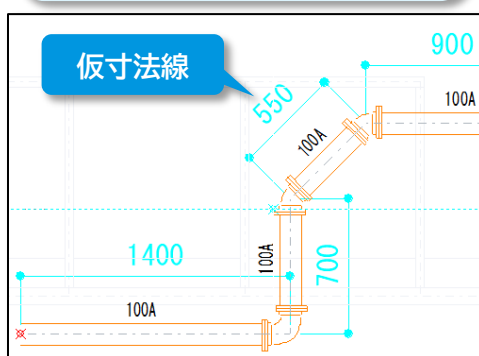
初心者が使いやすい、作業を格段に効率化させる 作図アシスト搭載

自動 仮補助線



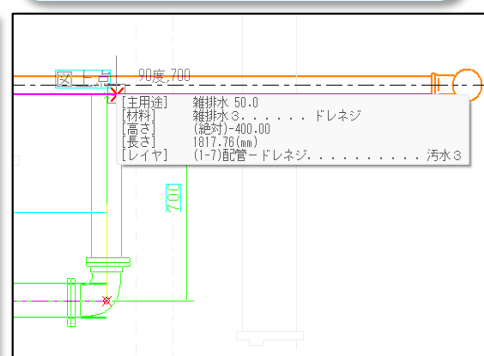
交点や端点にカーソルを合わせると仮補助線が自動で表示される。補助線やスナップがなくても正確な作図を実現。

自動 仮寸法線



作図中の部材に仮寸法線を自動で表示。寸法線として残すことも可能。

属性 リアルタイム表示

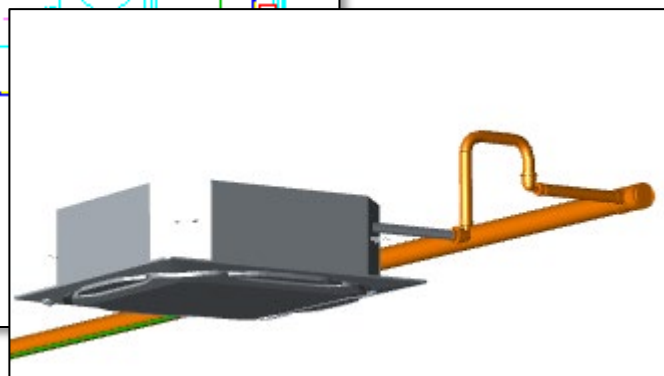
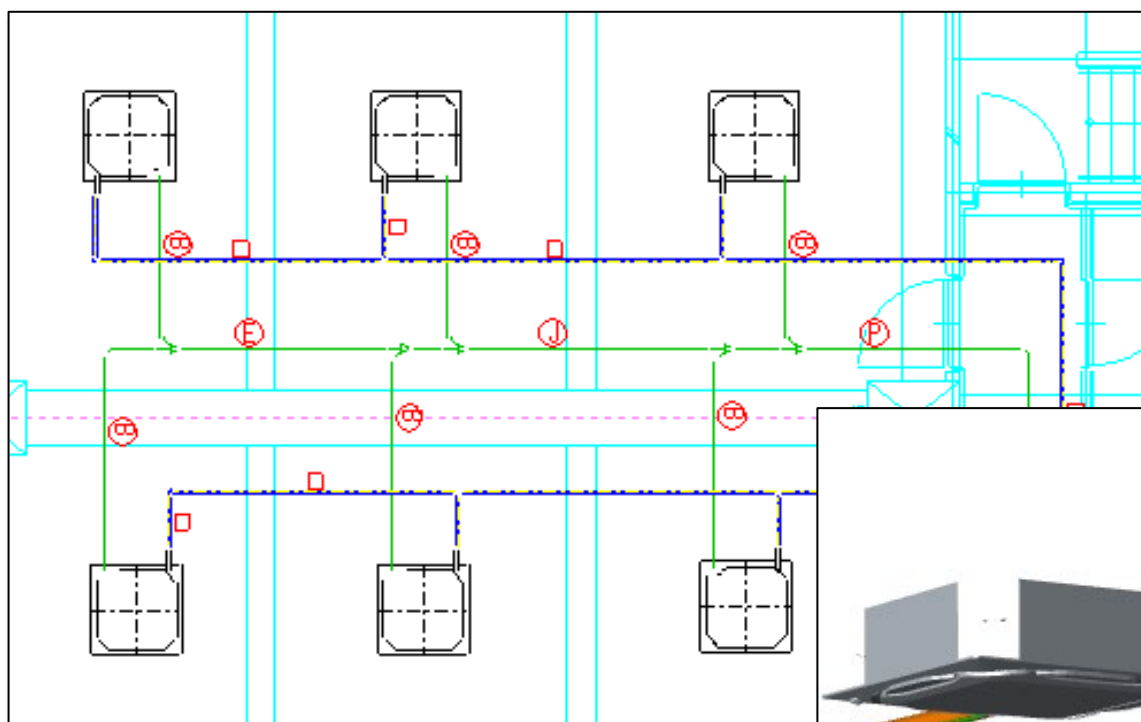


作図中に他部材の属性情報を表示。干渉しそうな部材や躯体の高さ、部材情報、レイヤーなどを確認しながら作図を遂行。

空調メーカーのダイキンならではの 空調機能強化

ダイキン製空調機画像の自動ダウンロードや配管の自動生成等、空調関連図面の作成を効率化させる機能を搭載。

空調設備図やリニューアル提案書作成を効率化！



FILDER SiX機能強化一覧

初心者が使いやすい、作業を格段に効率化させる

作図アシスト搭載

P6～P10

仮補助線の自動表示

P6

作図中に自動で仮補助線が表示されます

作図時に仮寸法線を自動表示

P7

作図中に、他図形との距離など、仮寸法値等が表示されます

選択部材の仮寸法線を自動表示

P8

選択した部材に対して近傍の通り芯等からの距離が表示されます

属性リアルタイム表示

P9

図形の上にマウスを重ねると、属性情報が表示されます

照明器具の自動配線

P10

一直線上に並んでいる照明器具を自動的に一括配線できます

空調メーカーのダイキンならではの

空調機能強化

P11～P16

空調機画像自動ダウンロード

P11

ダイキン製空調機画像をD-SEARCHと連動して簡単に貼り付けできます

冷媒配管、ドレン配管の自動生成、ドレンアップ

P12

室内機を結ぶ、冷媒・ドレン管を自動で生成し、ドレンアップされます

機器・器具からの配管作図

P13

空調室内外機や衛生器具等から、配管を作図できます

ドレンホースの追加

P14

ドレンホースを一つの部材として追加します

機器・器具の回転に伴う配管の追従

P15

空調機の向きを変更した場合に、接続済みの配管が追従されます

接続点補正(高さ補正)

P16

メイン管と接続点の高さが異なる機器が、スムーズにメイン管に接続されます

FILDER SiX機能強化一覧

ユーザー様の声を反映した

その他操作・機能改善

P17～P24

3Dビュー設定画面の新設

P17

部材の表示や透過率を設定する画面が新設されています

設備IFC2.0対応

P18

設備IFC2.0フォーマットを読み書きできます

躯体の作画操作変更

P19

操作を「建築躯体」に統合し、高さ設定が見直されています

印刷プレビューと印刷機能の操作改善

P20

プレビュー時に設定画面を操作し、設定を反映できます

デュアルディスプレイ対応強化

P21

平面図と立面図を別々のディスプレイに表示できます

設定画面上でキーワード検索

P22

設定画面を1つの画面に統合し、キーワード検索ができます

メッセージウィンドウ対応

P23

メイン画面の下部にメッセージウィンドウが新設されています

墨出し位置エクスポート

P24

墨出し作業に必要な座標データをCSVファイルに出力できます。

使いやすさを追求

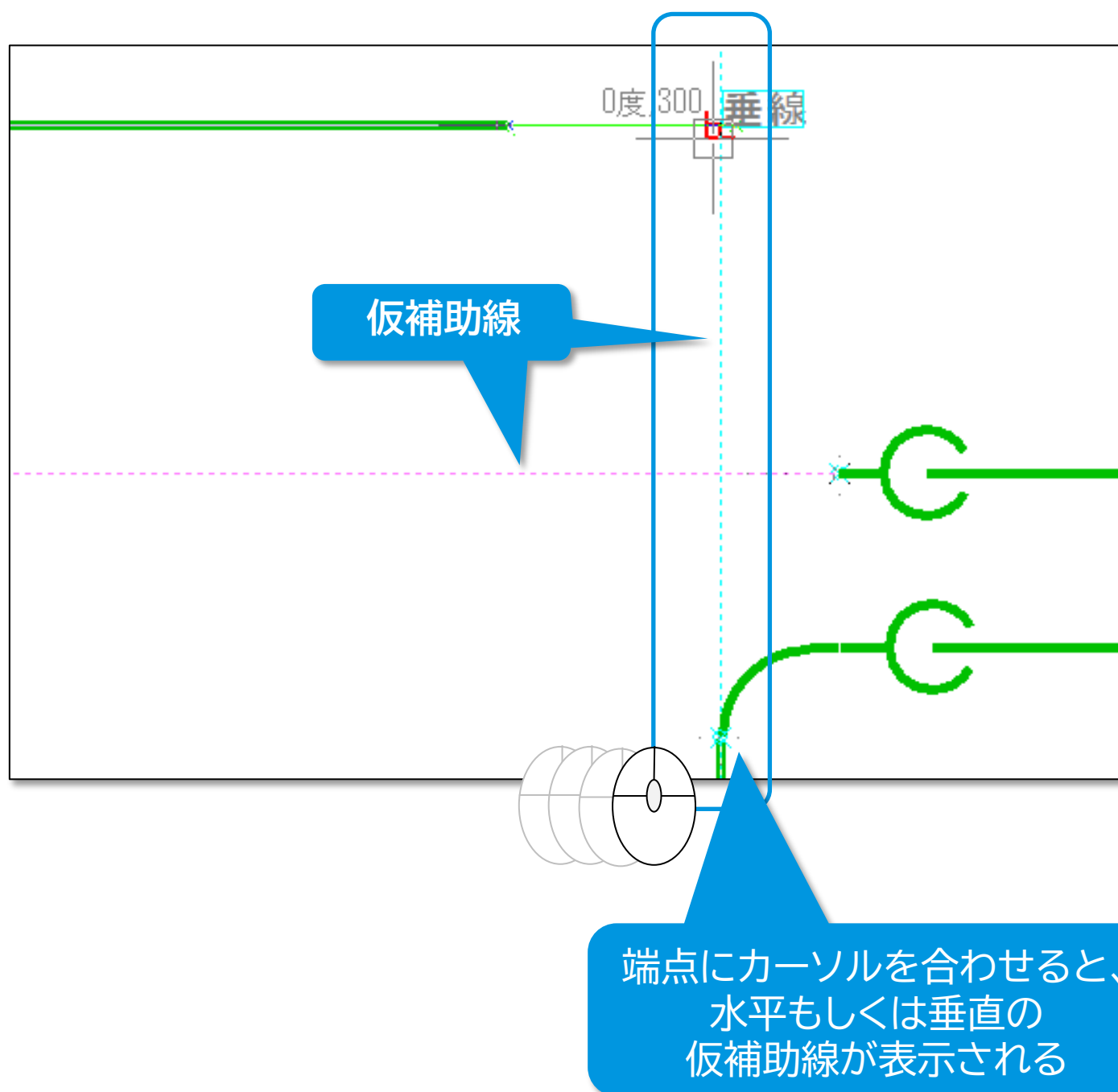
マニュアル刷新

P25

仮補助線の自動表示

作図中の部材に対して、仮補助線が自動で描画されます。
マウスの位置に合わせて、水平、垂直、延長線が表示されます。

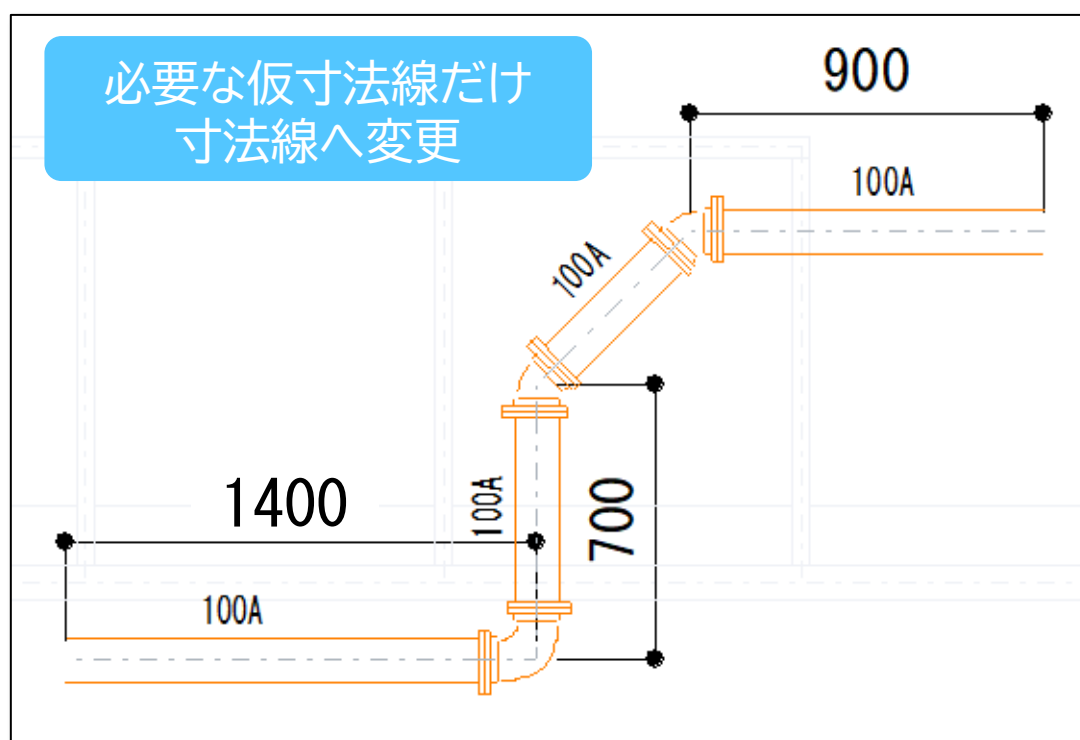
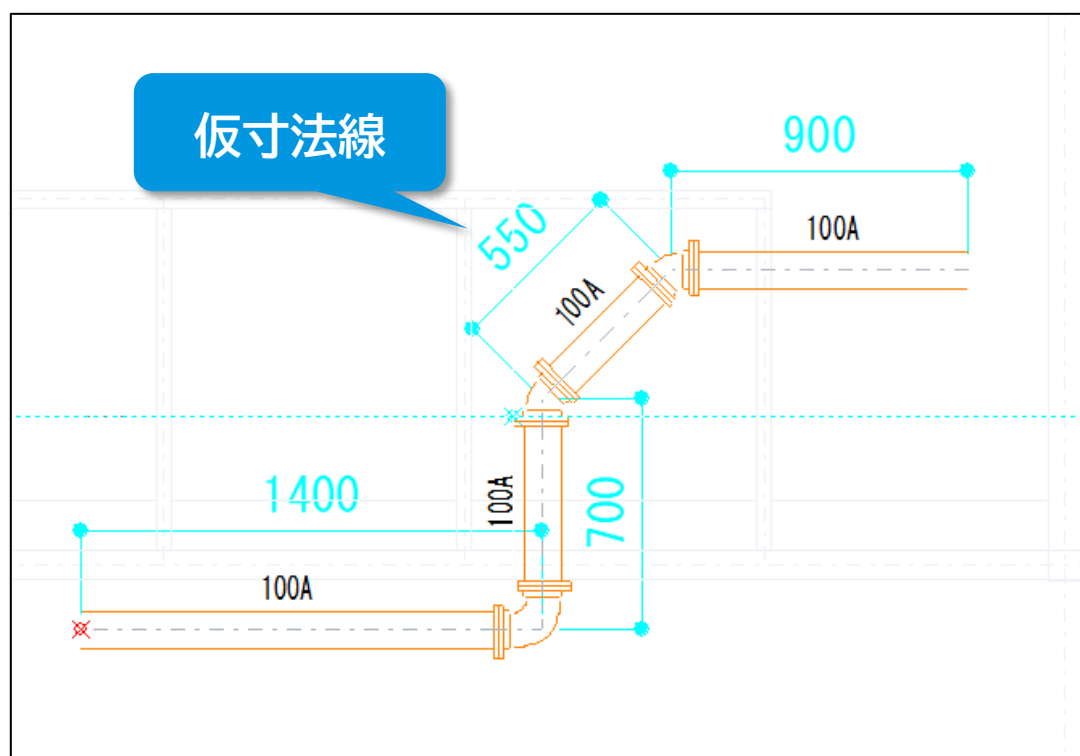
この自動で表示される仮補助線を活用することで、多くのパターンにおいて、補助線を描く手間を省いて、作図することができるようになりました。



作図時に仮寸法線を自動表示

作図する際に、ガイドとなる仮寸法線が自動表示されるようになりました。仮寸法線は、寸法線への変更が可能です。

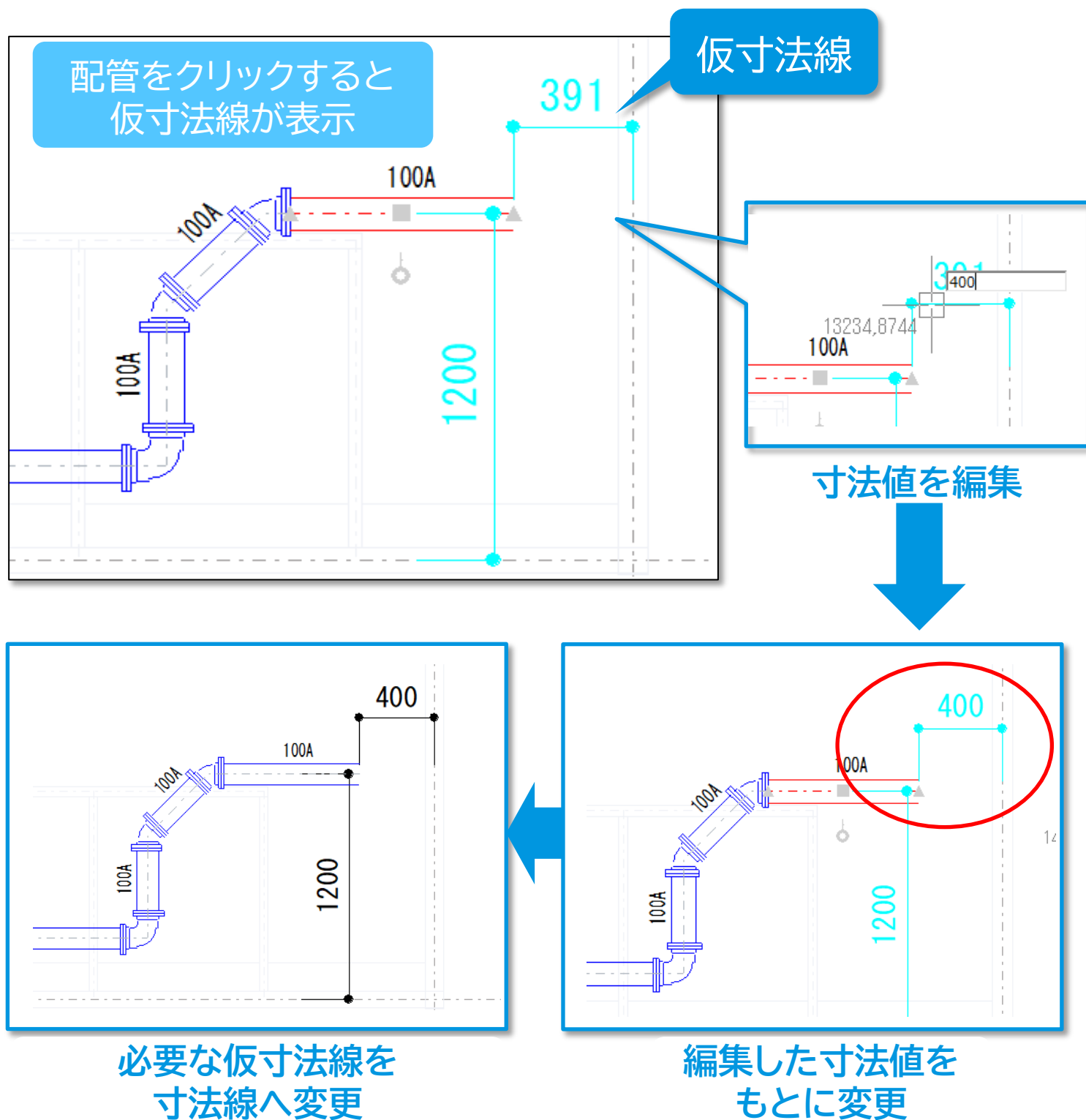
これにより、部材等の移動や寸法線作図の効率化が図れます。



選択部材の仮寸法線を自動表示

選択した部材の仮寸法線が自動で表示されるようになりました。部材や機器を選択した際に、近くにある基準線から仮寸法線が表示されるため、寸法値をもとに部材の移動等ができます。

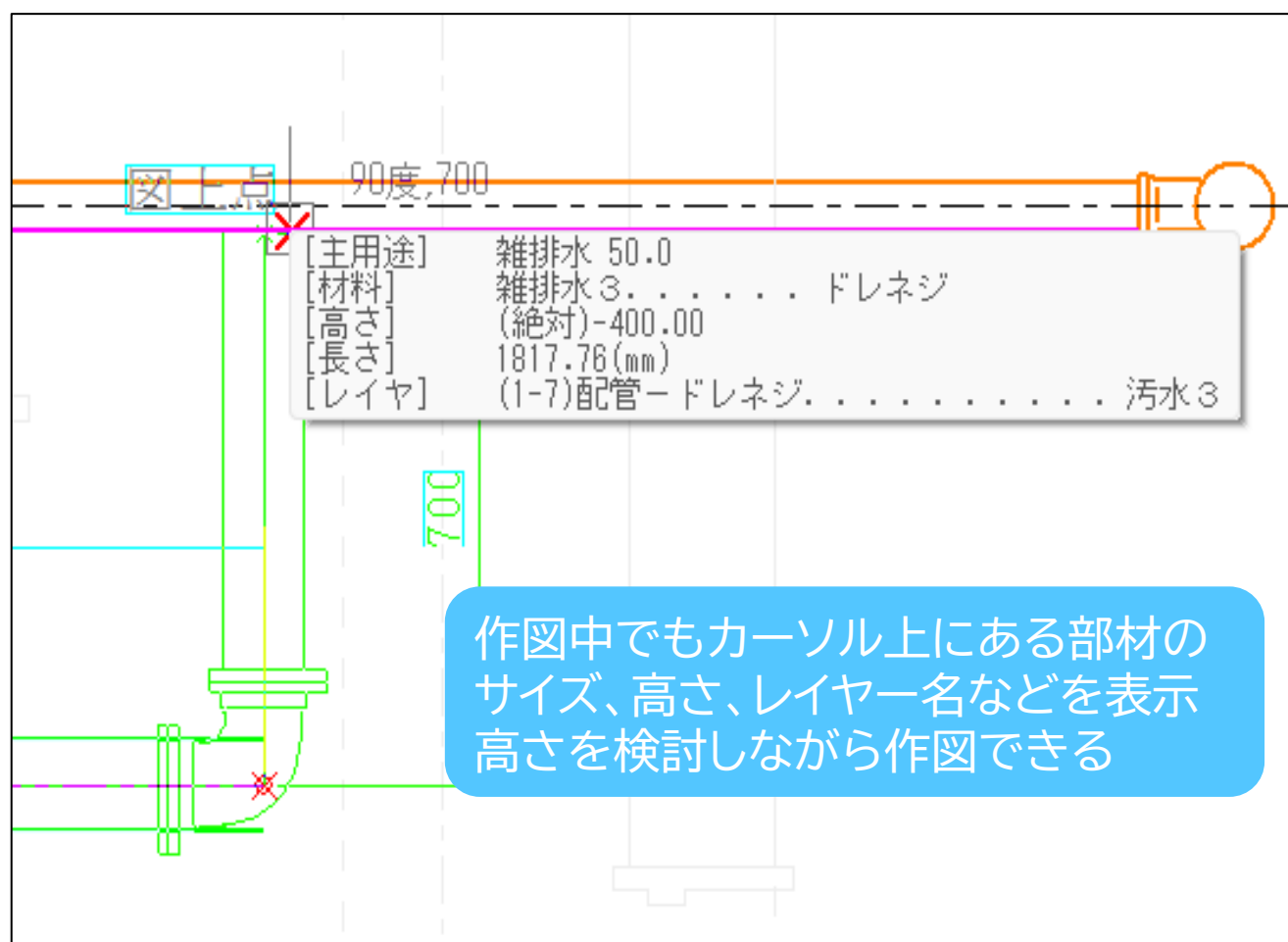
これにより、編集時の操作回数削減、寸法記入の効率化を図れます。



属性リアルタイム表示

部材、図形の上にマウスを重ねた際に、属性情報をツールチップで表示するようにしました。

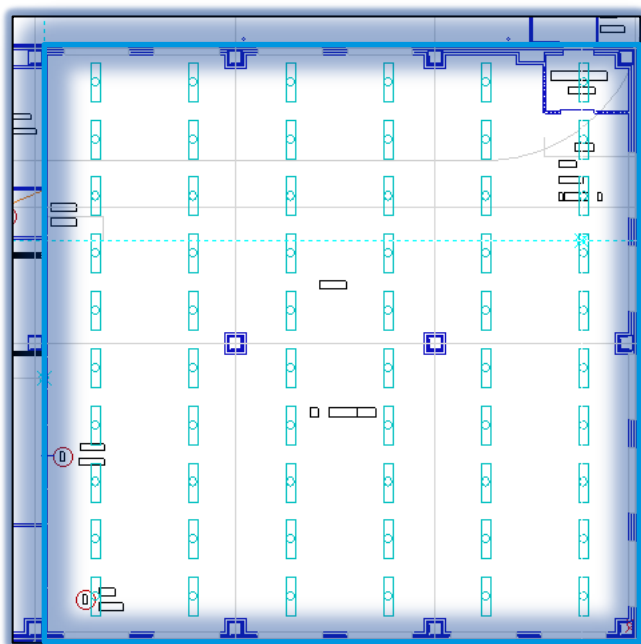
これにより、クリックの手間なく、描画済みの線や部材などの情報を確認できるようになりました。



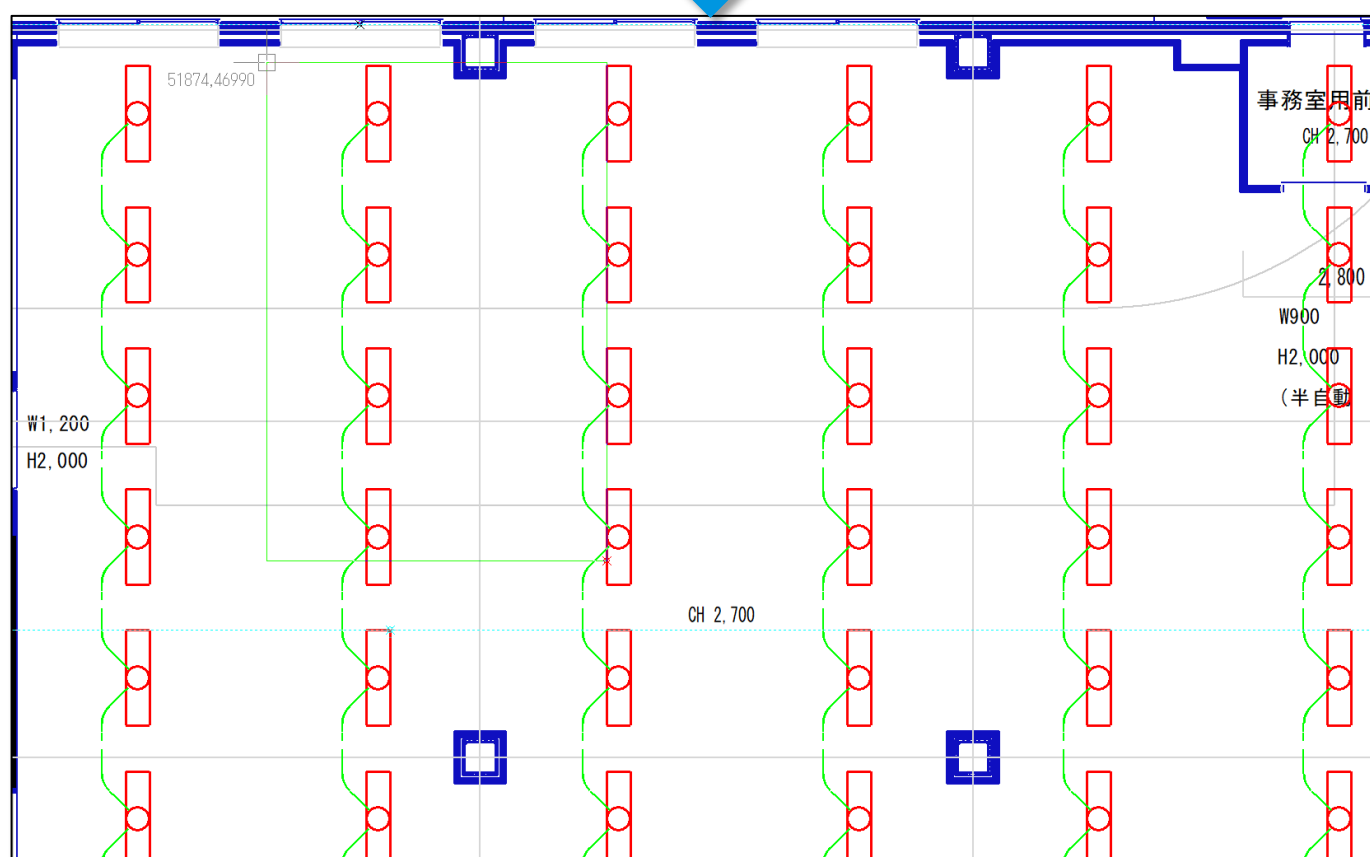
照明器具の自動配線

照明器具を複数選択して、一括で配線を作図できるようになりました。

これにより、照明配線作図の効率化が図れます。



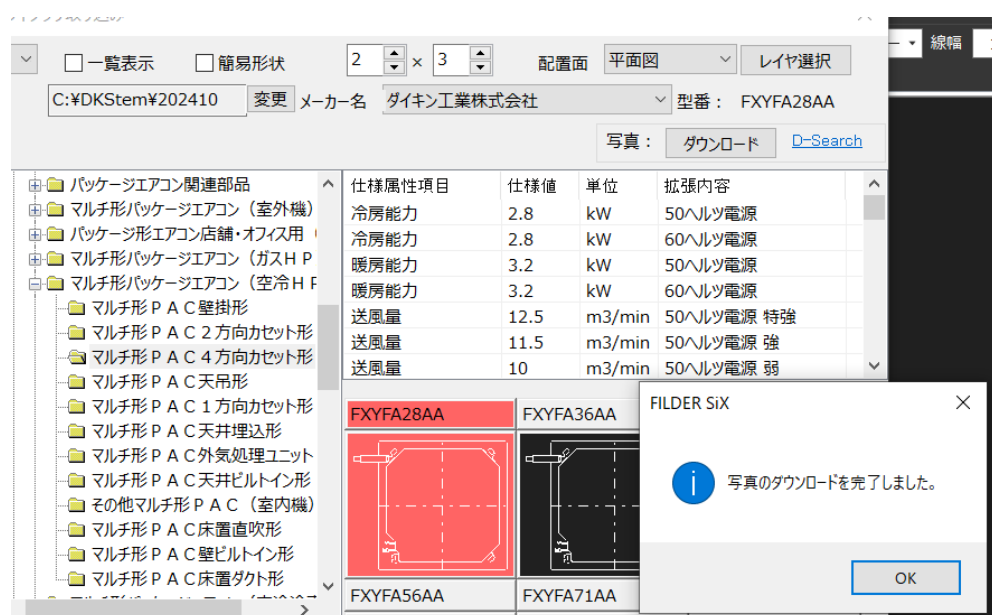
範囲選択し、確定すると
自動で配線が作図されます



空調機画像自動ダウンロード

ダイキン工業製空調機の 写真が自動的にダウンロードされて、図面に貼り付けられるようになりました。FINDER SiXからD-SEARCHの機器情報サイトを1クリックで開けます。

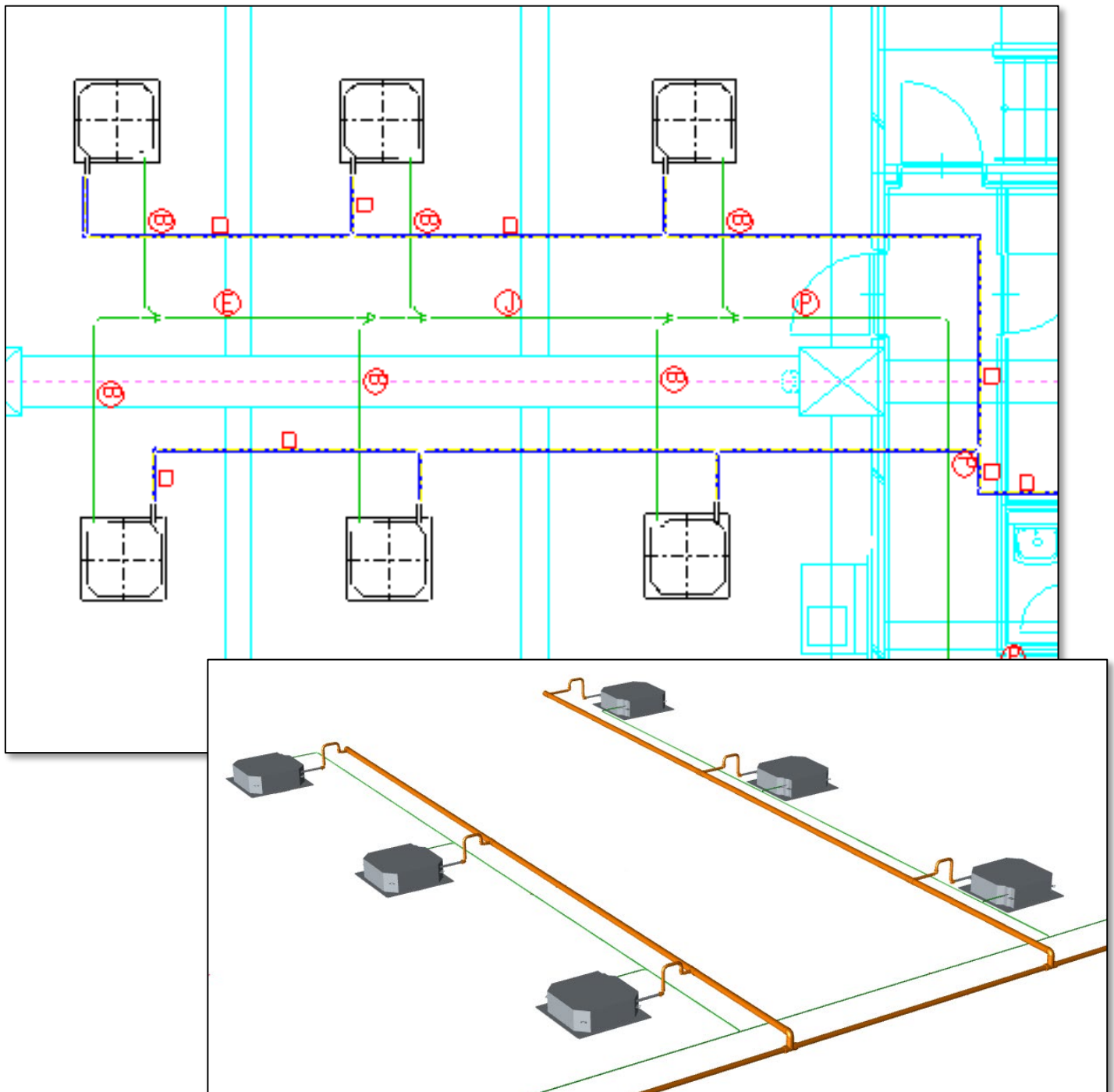
これにより、見積用の提案書作成時の写真貼り付け作業における効率化が図れます。



冷媒配管、ドレン配管の自動生成、ドレンアップ

室内機とつながる空調冷媒配管、ドレン配管が平面図上で自動的に生成されるようになりました。また、ドレン配管を自動生成した際には、空調機に取り付く部分をドレンアップ配管します。

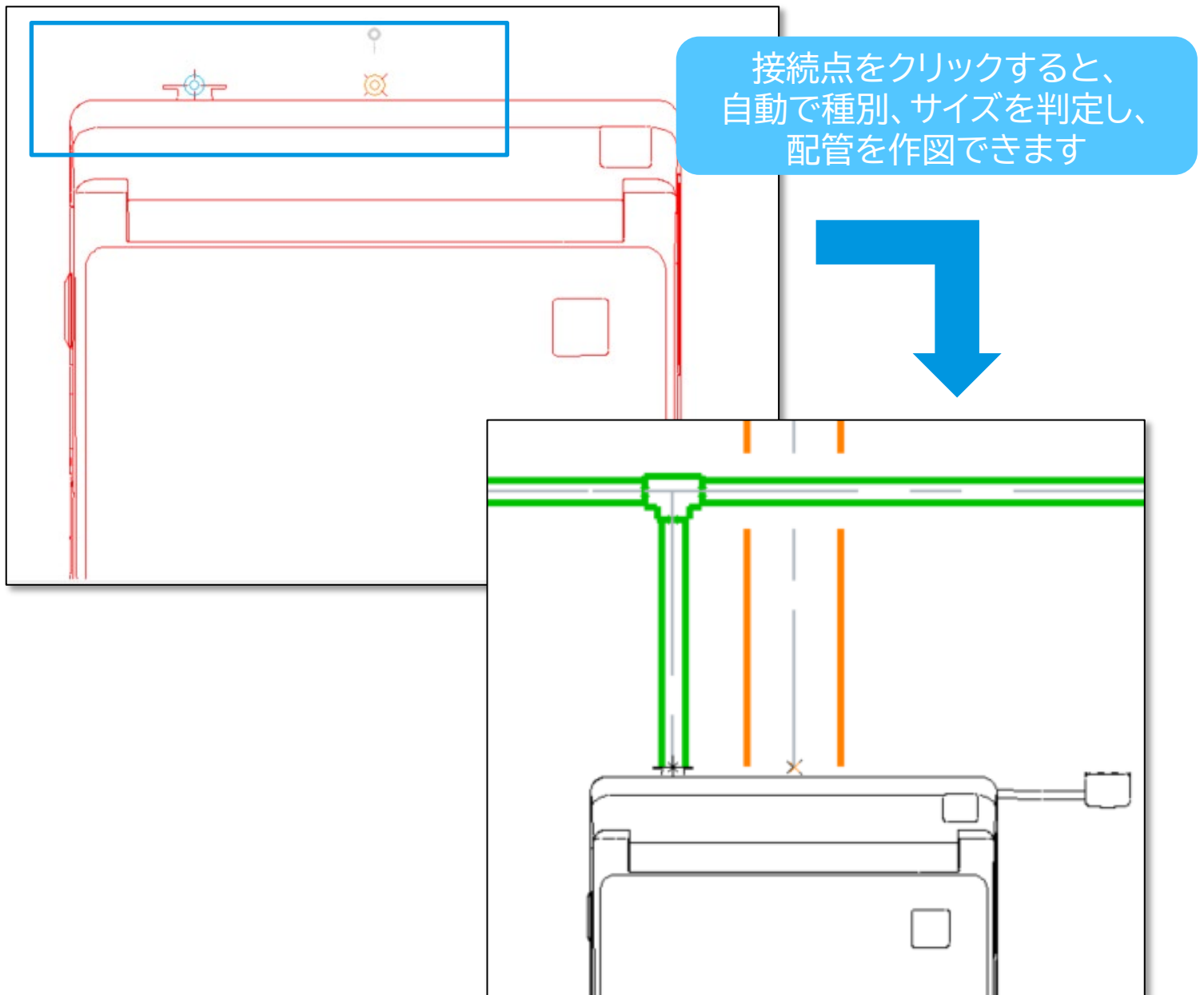
これにより、配管作図における効率化が図れます。



機器・器具からの配管作図

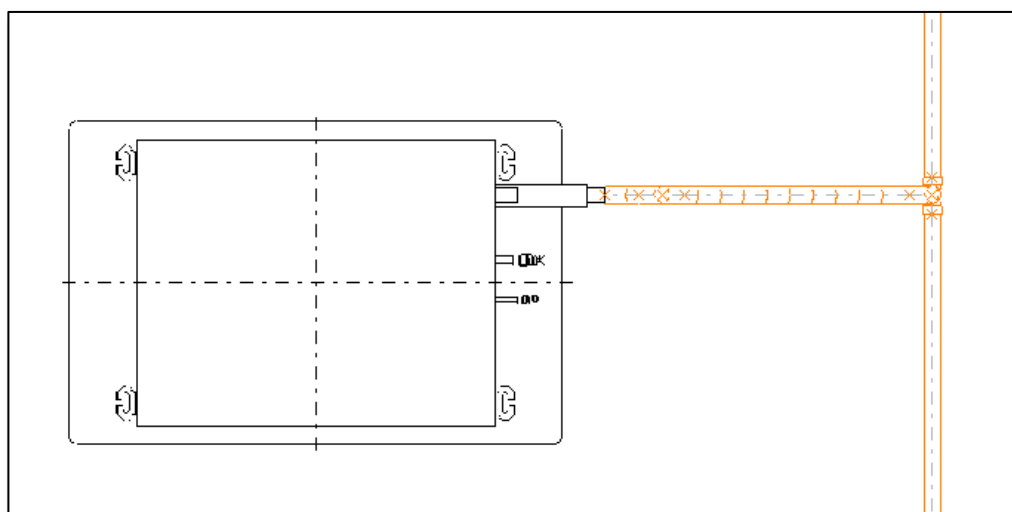
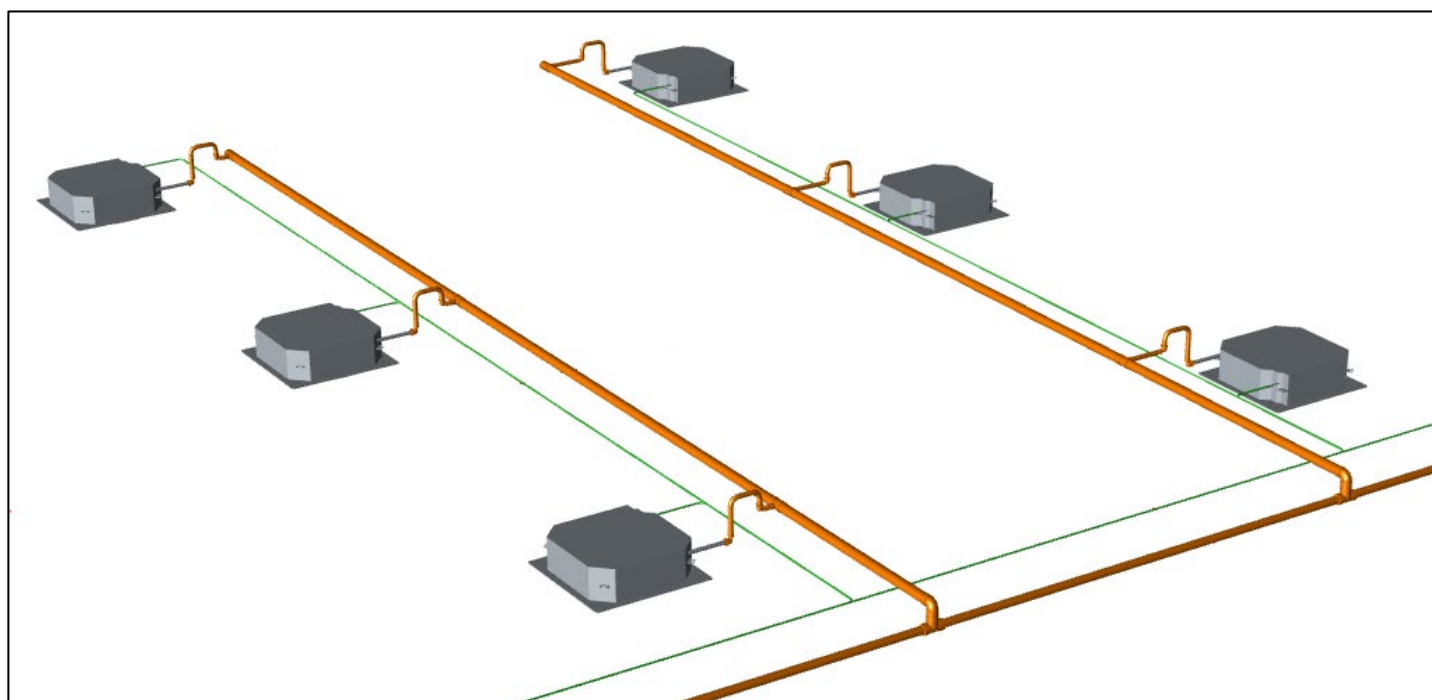
機器のコントロールポイント(接続点)から、配管やダクトを作図できるようになりました。機器や器具に設定されている用途や口径情報から、種別・サイズを選ぶ手間なく、配管やダクトの作図を始められます。

これにより、コマンドを実行せずに配管・ダクトを作図できるため、操作回数の削減が図れます。



ドレンホースの追加

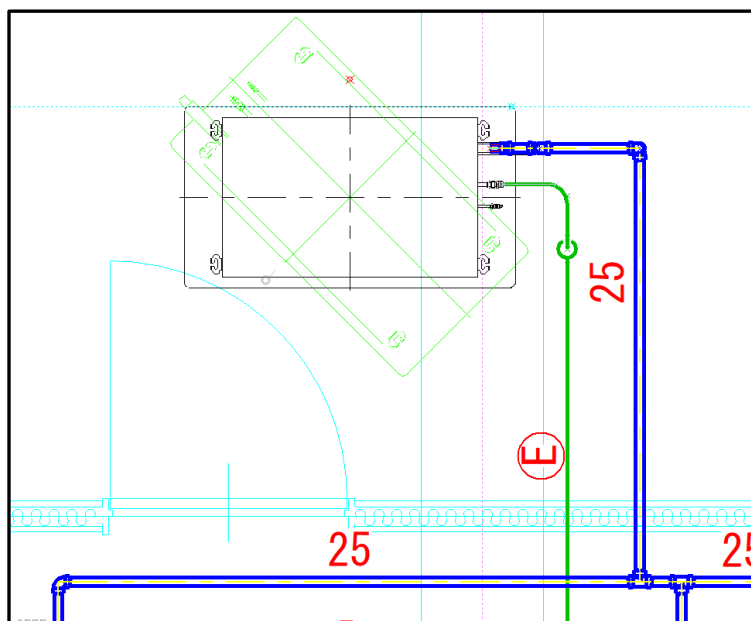
ドレンホースを配置できるようになりました。



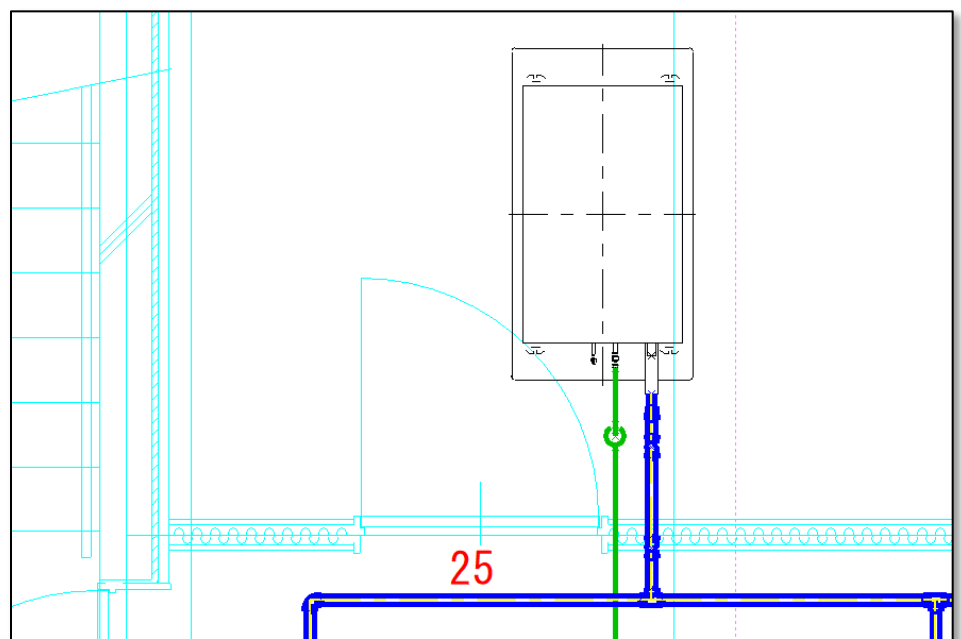
機器・器具の回転に伴う配管の追従

機器や器具を回転しても配管が接続を保ったまま、追従するようになりました。

これにより、配管が接続された機器を編集しやすくなり、編集に伴う配管の描き直しなどの手間削減が図れます。



機器を回転しても
配管が追従されます



接続点補正(高さ補正)

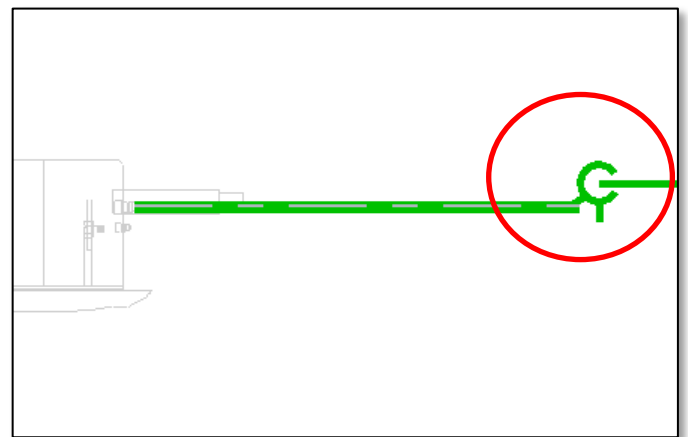
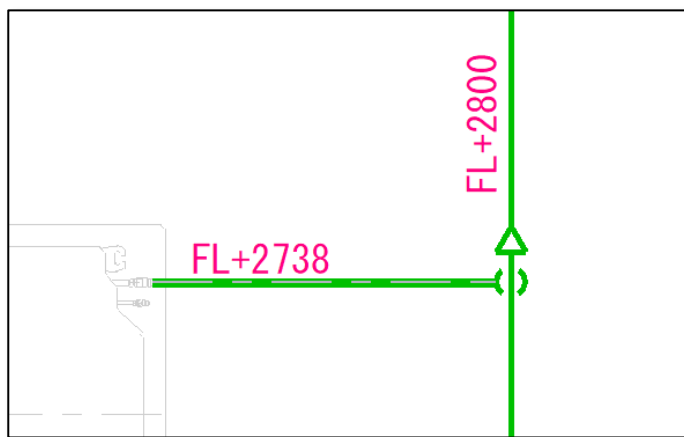
接続点の高さが異なる機器をスムーズにメイン管に接続できるようになりました。機器に接続する配管で高さの微調整を行うことで接続を保持し、平面でも立面でも接続している状態を保持させました。

これにより、様々な機器との間の配管作図手間の削減が図れます。

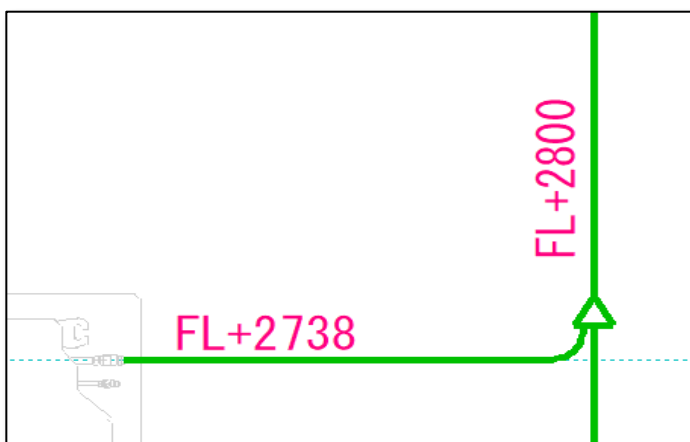
平面

立面

従来



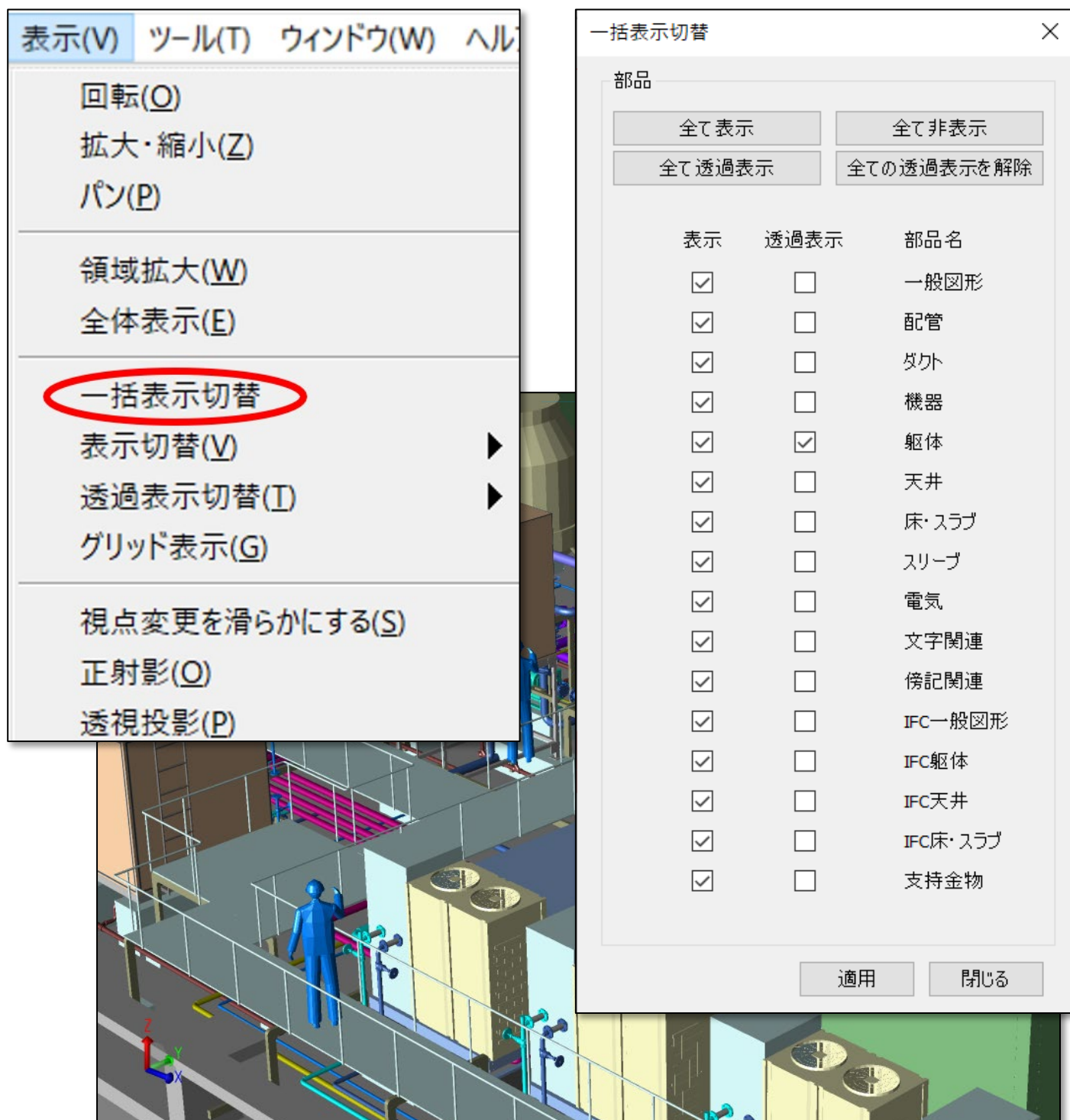
今回



3Dビュー設定画面の新設

3Dビューで部材のON/OFFをするための設定画面を新設し、部材ごとに都度画面を閉じなくて済むようになりました。

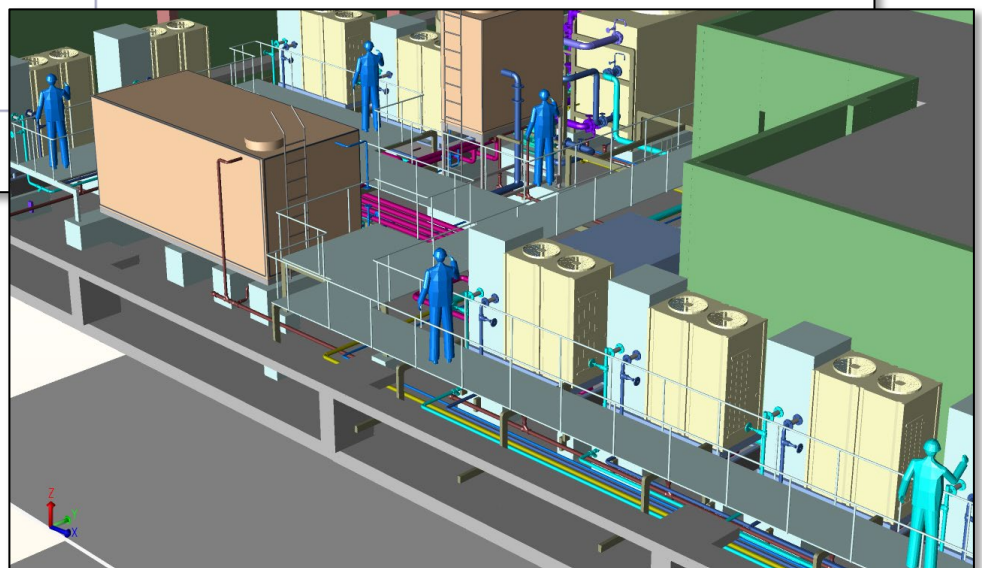
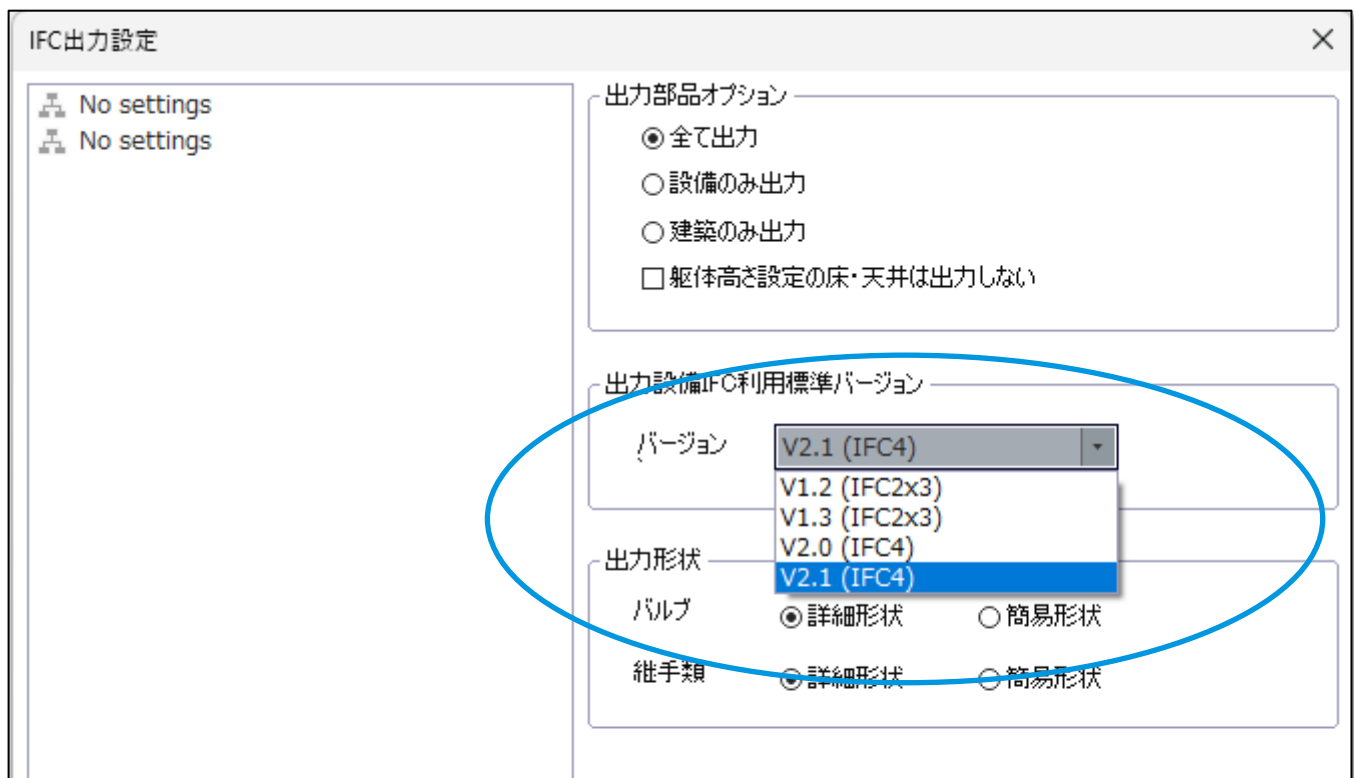
これにより、3Dビューにおける設定手間の削減を図れます。



設備IFC2.0対応

設備IFC2.0のファイルフォーマットを読み書きできるようになりました。

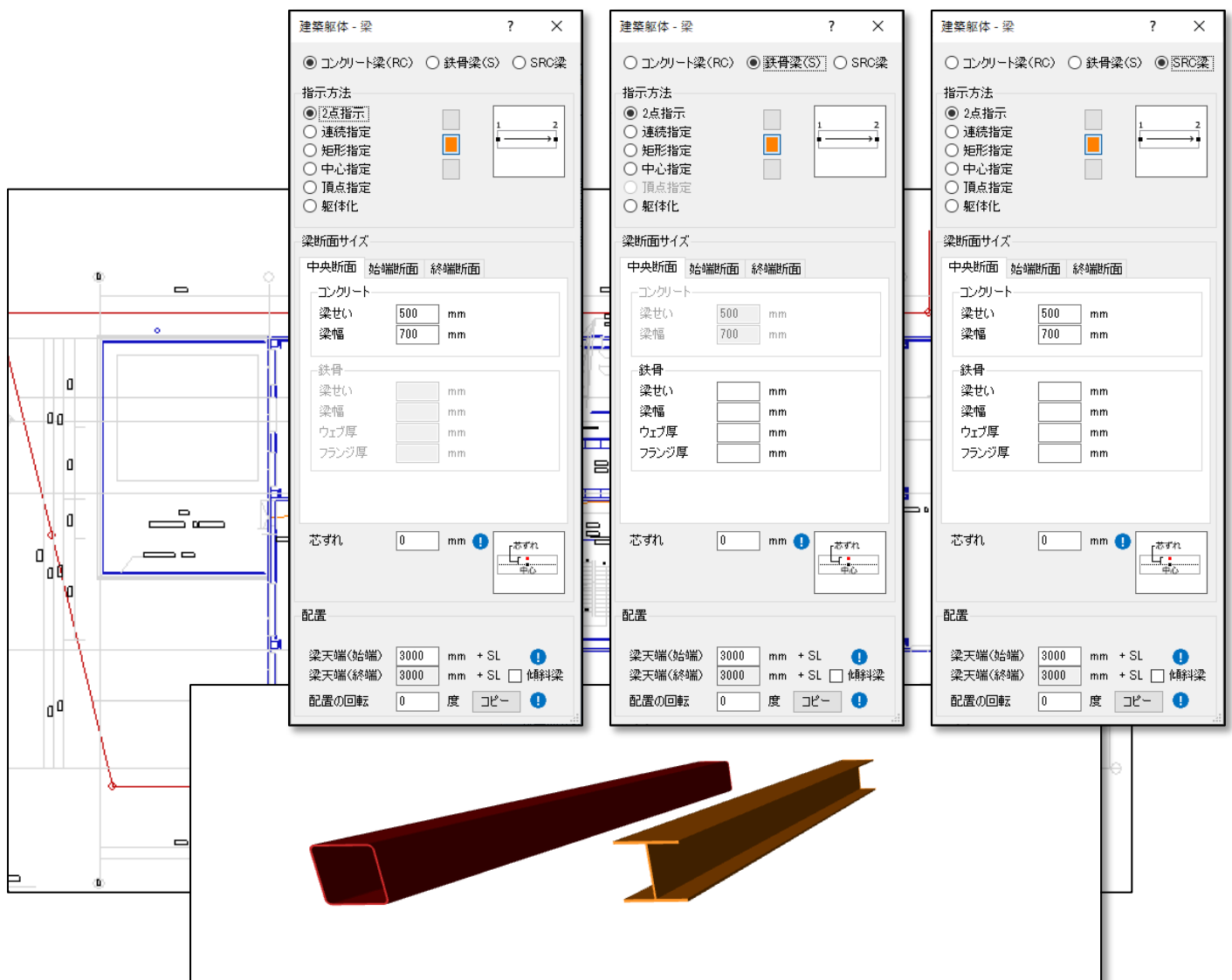
これにより、BIM物件をはじめとするIFCデータの受け渡しが強化されました



躯体の作画操作変更

[旧建築躯体]コマンドの操作を[建築躯体]に統合しました。柱・壁・梁の描画時に、トレース操作と断面サイズ指定での配置操作を切り替えられるようになりました。

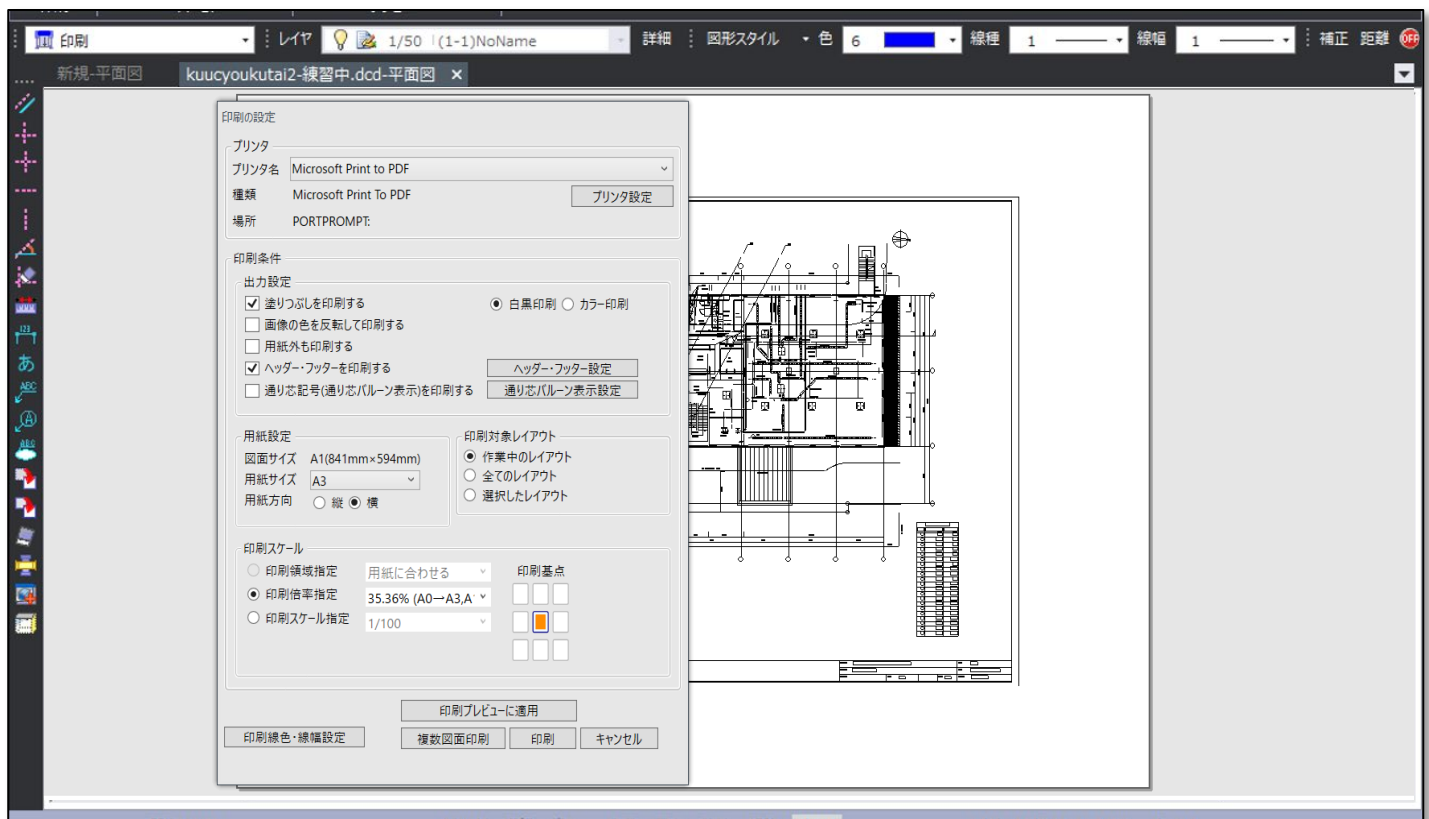
これにより、躯体の作図効率化が図れます。



印刷プレビューと印刷機能の操作改善

印刷プレビュー時に印刷設定画面を操作できるようになり、印刷設定画面で設定した項目を印刷プレビュー画面に反映できるようになりました。

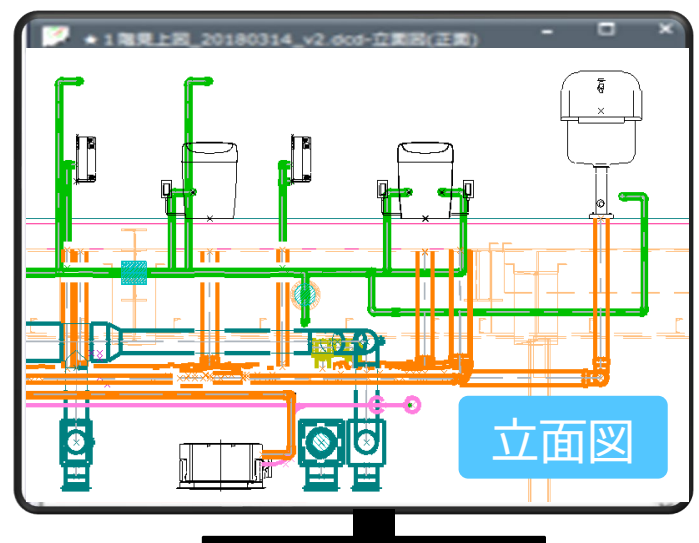
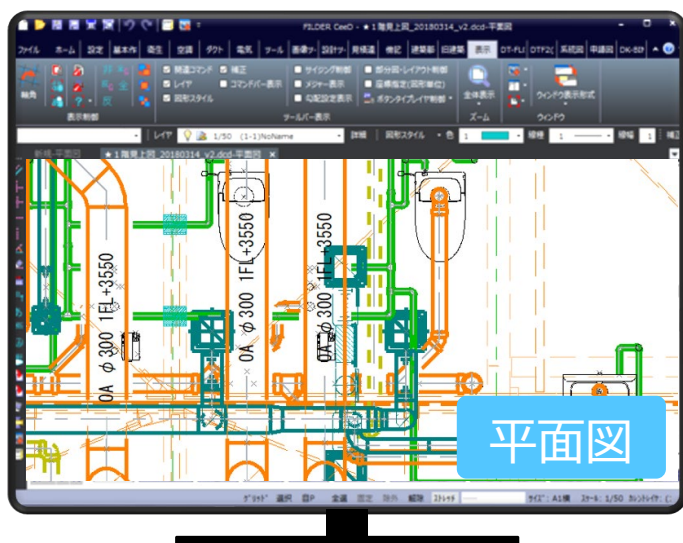
これにより、印刷設定とプレビュー表示の手間削減が図れます。



デュアルディスプレイ対応強化

平面図と立面図を別々のディスプレイに表示できるようになりました。

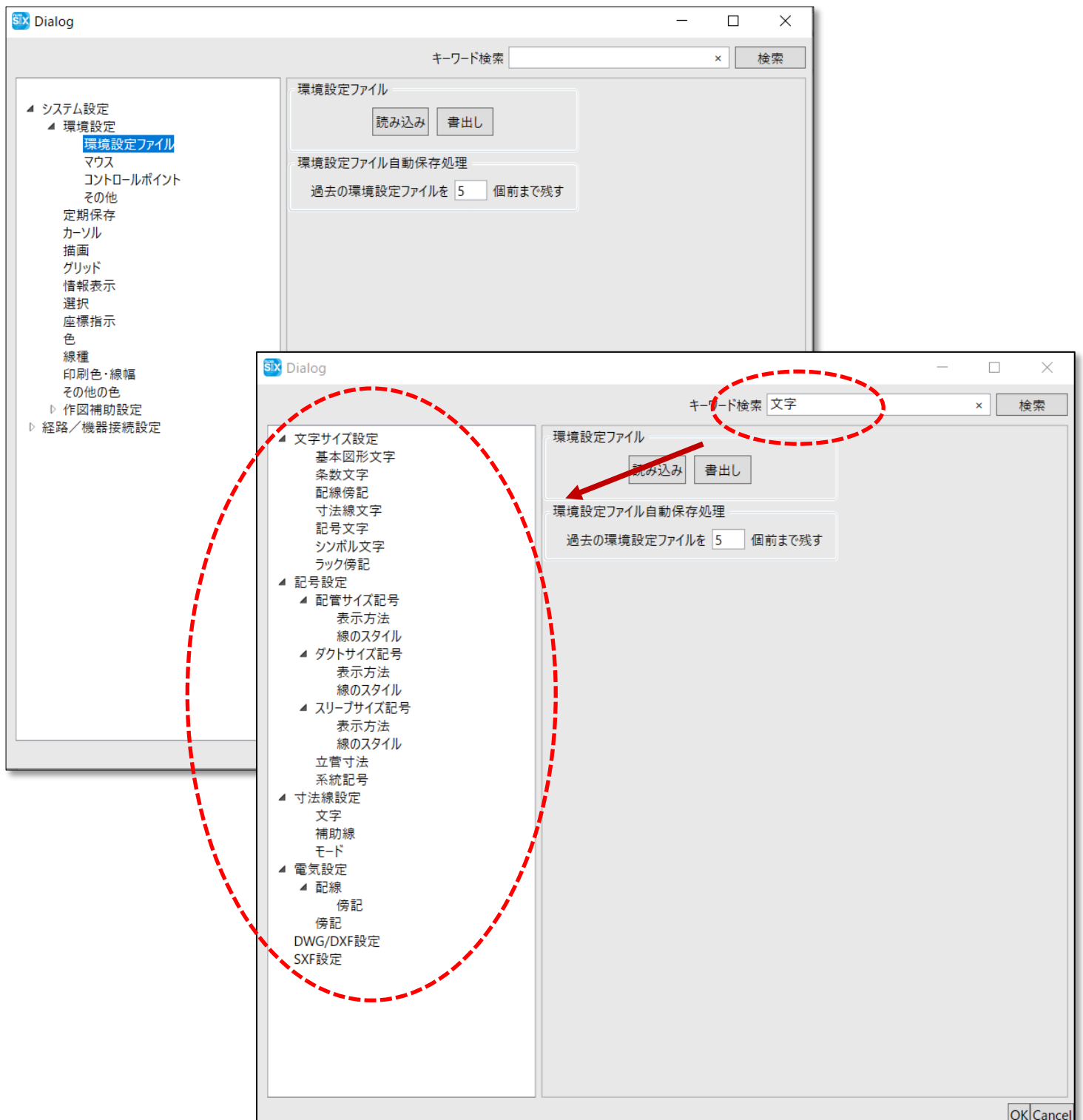
これにより、デュアルディスプレイ環境において、有効にディスプレイを活用し、作図効率化が図れます。



設定画面上でキーワード検索

設定画面を1つの画面に統合し、かつ、キーワード検索できるようにしました。

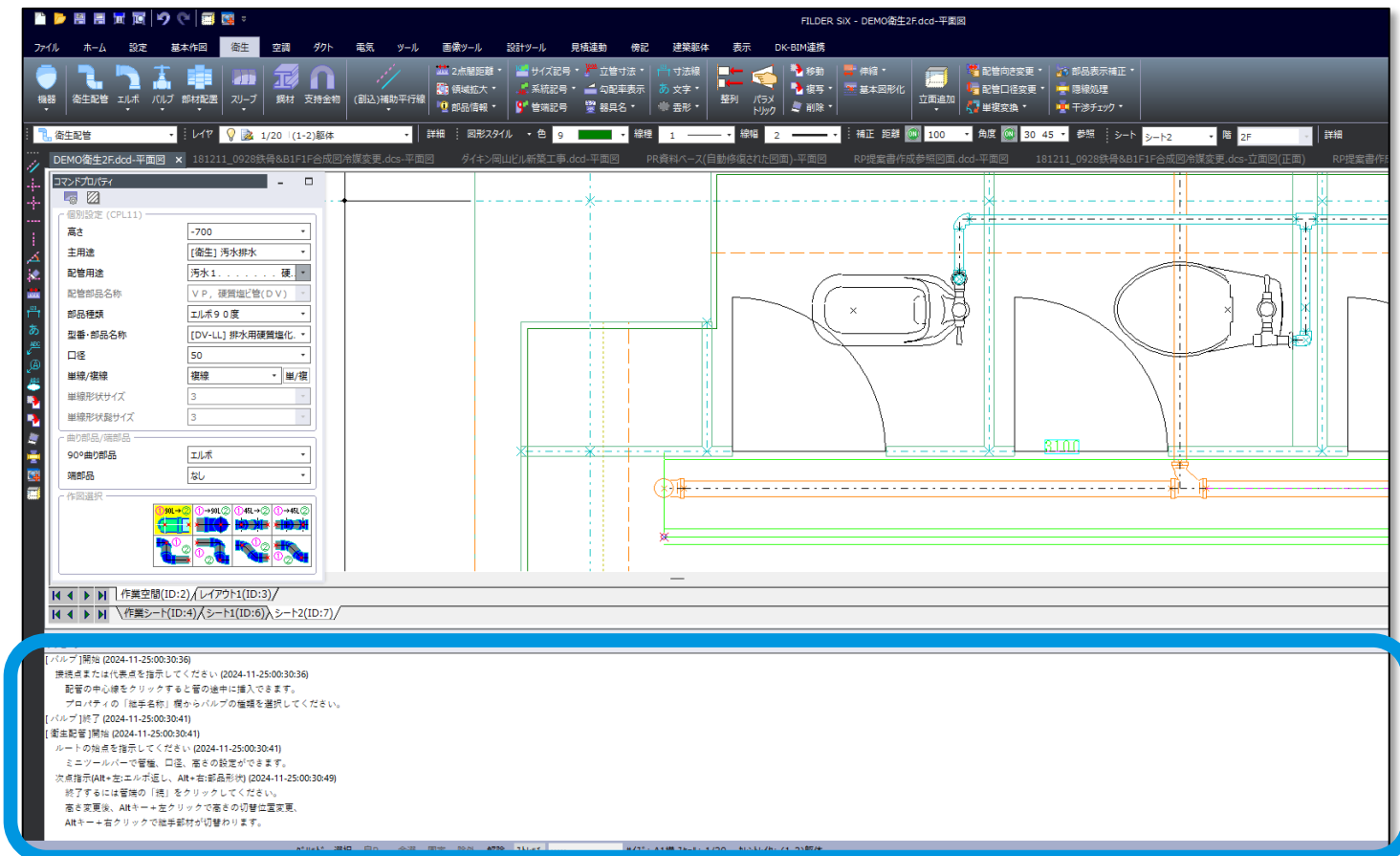
これにより、設定方法が不明になるケースが減少し、設定作業の効率化が図れます。



メッセージウィンドウ対応

メッセージウィンドウをメイン画面の下部に設けて、次の操作、エラーの内容を表示できるようになりました。

これにより、作画領域中にガイダンスが煩わしいという問題が解決されるとともに、メッセージの履歴が残るため、お問い合わせ時の弊社対応スピードの向上が図れます。

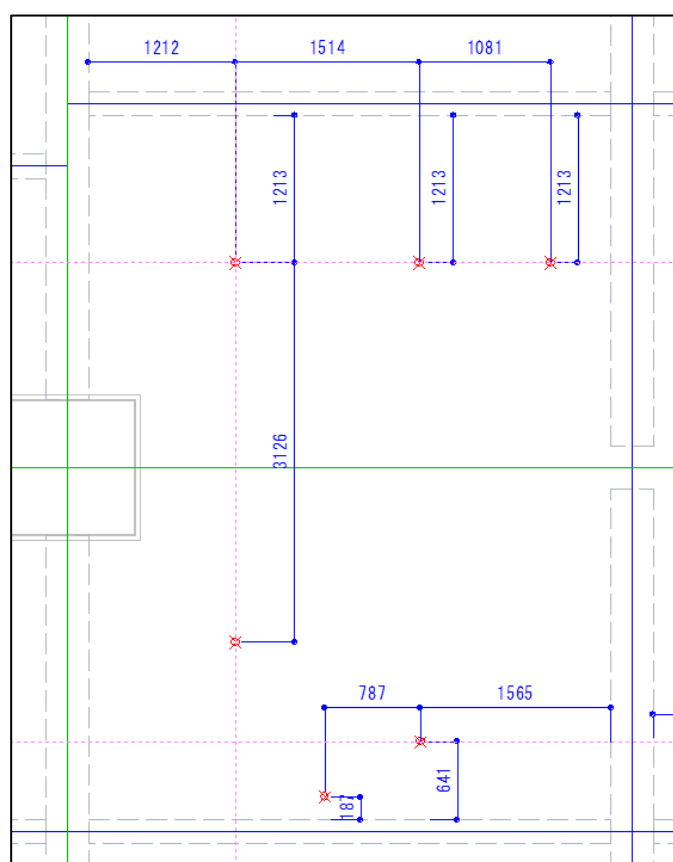


墨出し位置エクスポート

図面上のインサートやスリーブ、また任意の点の座標をファイルに出力できるようになりました。

株式会社トプコン様が提供しているスマートフォンアプリ「楽墨」に取り込むことで、位置出し作業を誘導することができます。

これにより、施工現場における作業効率も向上します。



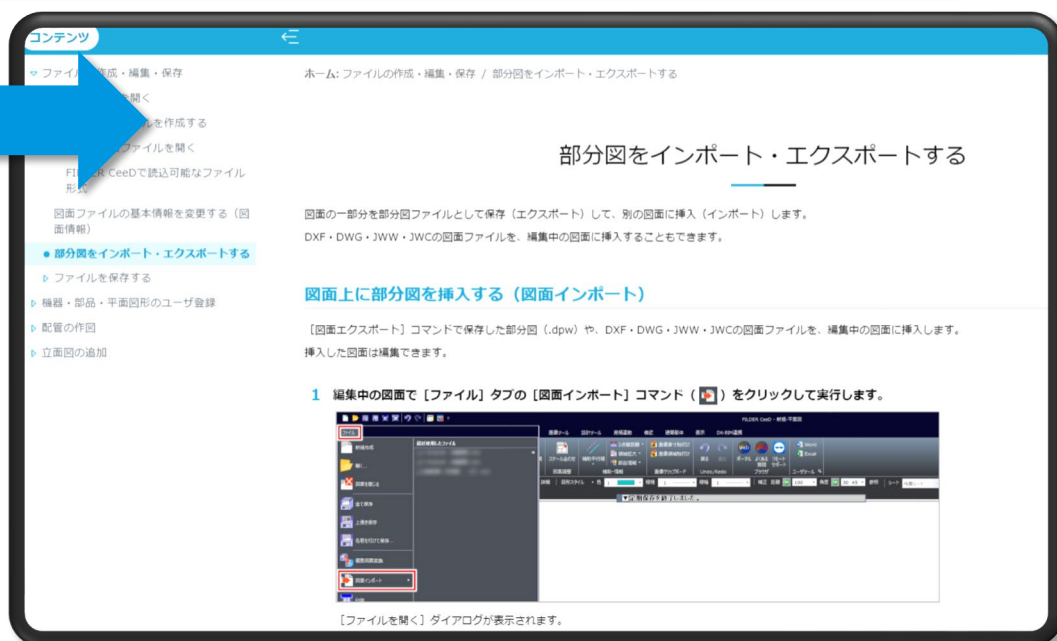
墨出し位置
エクスポート



最新マニュアル紹介

FILDER SiXでは、マニュアルを刷新しました。
これまで、PDFファイル、紙でのご提供でしたが、Webでのマニュアルとなりました。

CAD操作中に不明点があった際に、
関連するマニュアルへダイレクトにアクセスすることができます。



動作環境

対応OS : Windows 11 日本語環境

必要CPU : Intel Core i5同等品以上

必要メモリ : 8GB 以上（16GB 以上推奨）

ディスク容量 : 6GB 以上の空き容量（インストール時）

ディスプレイ解像度 : 1280×800 ピクセル以上
:（1920×1080 ピクセル以上推奨）

グラフィック : OpenGL、及びDirectX 9.0対応のグラフィックカードを推奨
: ※全てのグラフィックカードの動作を保証するものではありません。

入出力機器 : ホイールマウス、キーボード

インターネット接続環境 : 必須(ライセンス認証、マニュアル)

FILDER CeeD / Cubeから FILDER SiXへの主な変更点

項目	説明
冷媒3管の追加	冷暖フリー(1 系統で個々の部屋で冷房と暖房が同時に行える)の施工図を作成できるように、「高圧ガス」を追加し、「液」、「ガス」、「高圧ガス」が作成できるようになりました。
電気シンボルの負荷容量付加・編集	照明器具等、電気を使用するために消費する負荷容量の付加・編集ができるようになりました。
回路情報付加・編集	回路の電圧や照明器具等の合計の負荷容量等の情報、遮断器の情報の付加・編集ができるようになりました。
盤図作成	配置した電気シンボルに情報を付加し、その情報を使って盤図を自動的に作成できるようになりました。
青焼き補正	青焼き図面をコピー機などで画像(もしくはPDF)に変換したファイルをCADに取り込んだ後、青焼き補正機能にて色補正、ゴミ取りを行えるようになりました。
コントロールポイント移動での配管編集	機器に繋がったルートのCP移動で自動引き回しなどコントロールポイント移動が更に便利になりました。
トレースした壁への開口部配置	トレースした壁にも扉などの開口部を配置できるようになりました。
ツールバーの追加	クイックアクセスツールバーとは別に自由に配置できるツールバーを追加しました。
よく使う図面ファイルを固定する	「ファイル」メニューの「最近使用したファイル」に、常に表示させたい図面ファイルを固定することができるようになりました。ファイル名称の横の押しピンマークをクリックすると固定されます。
ファイラーの廃止	FILDER Cube では、「ファイル」メニューの「開く」で図面を開く際に「FILDERFiler」というソフトが起動していましたが、FILDER SiX ではFILDERFiler は廃止されました。(CeeDも同様)
リモートサポートボタン	リモートサポートをCADの画面から起動できるようになりました。
レイヤの非表示・表示コマンド	「非表示レイヤ指定」、「表示グループレイヤ反転」、「表示レイヤ反転」、「全グループレイヤ表示」、「全レイヤ表示」を追加しました。
レイヤの表示・編集状態の登録・呼出	レイヤの表示・編集状態の登録・呼出ができるようになりました。
隠線状態の自動更新機能	レイヤやシートを非表示にした際、下のある配管やダクトが隠線されたままとなっていたましたが、設定を切り替えることで表示状態の切替時に自動で隠線を復活できるようになりました。
隠線処理機能の一般図形対応	「隠線処理」機能の「モード」を「クリップ」にし、上にしたい部品(図形)を選択し確定、下にしたい部品(図形)を選択し確定すると、配管・ダクトと一般作図図形を隠線処理できるようになりました。
図形の表示順入替	従来の表示順はレイヤ固定だったのを、表示順をレイヤ優先(レイヤは上から下)にするか、シート優先(シートは左から右)にするか選択できるようになりました。
最前面へ移動	「最前面へ移動」、「最背面へ移動」コマンドでは、同一レイヤ、もしくは同一シート内には限定せず、レイヤ、またはシートの表示順の制御を超えて「最前面」あるいは「最背面」へ移動します。
ビューポートのロック	配置したビューポートを誤って選択しないようにロックをかけられるようになりました。
ビューポートスケール変更時の文字サイズ指定	ビューポートのスケールを変更する際、文字サイズ、矢印サイズの設定ができるようになりました。
ビューポート作成時の配置基点指示	「ビューポート作成」、「ビューポート作成(立面)」を作成する際、配置基点を指定して配置するようになりました。
電気シンボル(蛍光灯型)のサイズ	シンボル寸の電気シンボル(蛍光灯型)を配置する際、口型の電気シンボルの「長さ(L)」のサイズが、レイヤ、シートのスケールの比率で拡大・縮小されるようになりました。
立面追加の表示面選択	立面追加時に一度に「正面」「右側面」「左側面」「背面」など表示できるようになりました。
寸法線自動付加	寸法線自動付加のとき、寸法線作図途中に一般図形も選択できるようになりました。

FILDER CeeD / Cubeから FILDER SiXへの主な変更点

項目	説明
伸縮端点決定方法	伸縮する際、伸縮する端点の選び方を「対象部品指示位置」か「伸縮先方向」に設定できるようになりました。
「印刷色」「線幅」複数一括設定	「印刷色」「線幅」を複数一括変更できるようになりました。
設定ダイアログ内名称表示	「環境設定」内「選択」タブのレイヤ名称を選択する際に名称が全て表示されるようになりました。
バルーン、線分の矢印付加・削除	バルーン、線分の矢印付加がプロパティで変更できるようになりました。
印刷時の領域指定	印刷時に領域指定でスケールが指定できるようになりました。
立管コマンド	立管をコマンドから配置できるようになりました。
バルブソケットの自動付加	バルブ(ねじ込み部材)から配管(塩ビ配管)を作図する、配管にバルブを挿入する際、バルブソケットが自動付加されるようになりました。
STEM(ダイキン)ダウンロードボタン	STEMデータのダウンロードページをCADの画面から開けるようになりました。
勾配解除時の基点表示	勾配解除時、基点が表示され、基点を変更できるようになりました。
電気シンボルの高さ基準設定	電気シンボルを配置する際、コマンドプロパティで配置高さ基準(下面、部品、上面、中心)を設定できるようになりました。
材質付加/材質解除	壁、円弧壁、角柱、円柱にコンクリート等の材質がわかるように、材質の表示を付加、解除できるようになりました。
手動包絡	角柱、円柱、鉄骨角柱、壁、円弧壁、梁、斜梁、円弧梁、鉄骨梁、水平ハンチ／ドロップ、床スラブ、天井に、包絡処理では意図した形の包絡にならない場合、手動で部分的に包絡がかけられるようになりました。
DK-BIM連携	DK-BIMを連携することにより、室内機、室外機、冷媒配管の長さ、レフネットジョイントの個数などの情報を元に冷媒配管口径の選定、冷媒追加充填量の算出、レフネットなどの型番選定をDK-BIMに行わせ、FILDER SiX 図面へ反映することができます。(FILDER CeeD も同様)
ショートカットメニュー設定	FILDER SiX の1回目右クリックしたときにお客様がカスタマイズしたメニューを表示するように設定することができます。(FILDER CeeD も同様)
基本図形の属性コピー	基本図形の色／線幅／文字サイズなどをコピーし、別の基本図形に貼り付けられます。
クイックアクセスツールバーの設定読み込み	FILDER SiX には「システム設定」画面－「環境設定」タブで環境設定ファイルの保存／読み込みを行える機能があります。この機能で「ユーザ設定」についても保存／読み込みを行えますが、読み込む際にクイックアクセスツールバーの設定も読み込めるようになりました。(FILDER CeeD も同様)
JWWに線色を設定して出力	JWW形式へのファイル保存時、FILDER SiXの9番以降の線色・線幅を使用していた場合、JWWへの線幅1～8番への線色を設定して出力することができます。(FILDER CeeD も同様)
JWW設定	JWW設定を詳細に設定できるようになりました。
マウスのJWWライク操作設定	FILDER SiXで下記項目の設定ができます。(FILDER CeeD も同様) - マウスの左右ボタンの同時押し込み状態でのドラッグで、図面の拡大／縮小をする - マウスの左右ボタンの同時クリックで、図面上のクリックした位置を画面の中央に移動する - レイヤを切り替えるときのマウスの左右ボタンを逆にする
シート、レイヤの塗りつぶし設定	「シート属性編集」の「表示(共通)」タブ、「表示(個別)」タブ、「編集不可色設定」でシートやレイヤで塗りつぶしの色・透過率の設定をすることができます。



ダイキン工業株式会社

電子システム事業部 営業部 HASグループ

TEL:0570-023-800(ナビダイヤル)